

大学で働く研究者

日本大学 文理学部 情報科学科

北原 鉄朗

Twitter: @tetsurokitahara

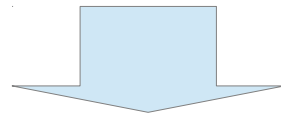
自己紹介

- 2002年3月：
東京理科大学 工学部 情報科学科 卒業
- 2002年4月～2007年3月：
京都大学 大学院 情報学研究科
 - 奥乃 博教授、後藤真孝氏 (AIST) の下で、
楽器音認識と音楽情報検索への応用の研究に従事
- 2007年4月～2010年3月：
科学技術振興機構 CREST 研究員
 - 研究代表者：片寄 晴弘 教授 (関西学院大学)
 - 音楽の様々な分析・生成技術の研究に従事
- 2010年4月～現在：
日本大学 文理学部 専任講師 → 准教授



今日のアジェンダ

大学・大学院は研究及びそれを通じて高等教育を行う場であり、学問追求の本場であると言える。しかし、学生から見るとその実態はあまり明らかではなく、「大学の先生は講義以外に何をやっているの?」という疑問も生じる。そこで、大学教員の経験談・苦労話・喜びなどを紹介し、その実態を明らかにする。



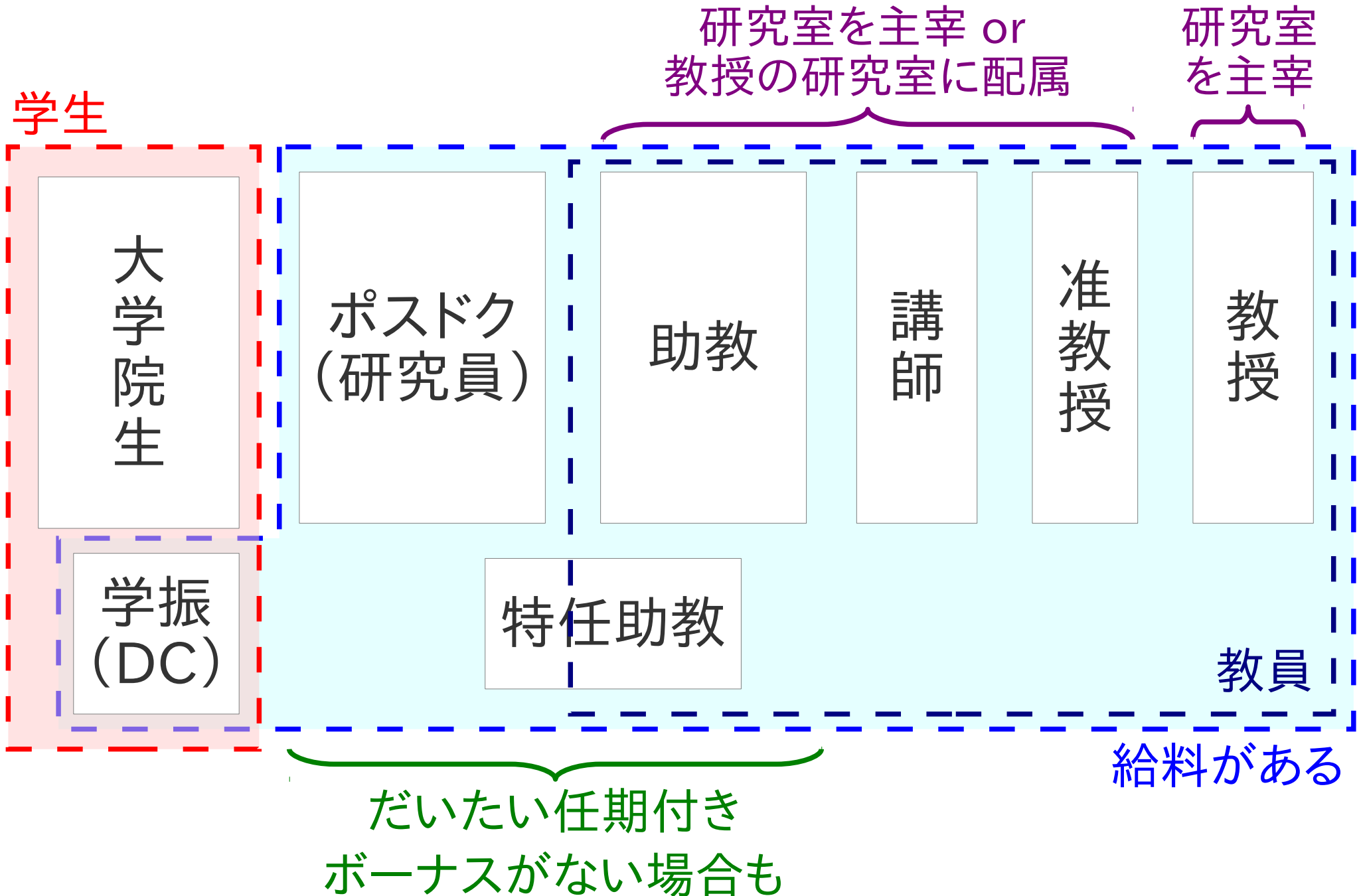
- 大学の研究者のいろいろ(種類)
- 大学教員が普段何やってるの?
- 大学教員のココが魅力
- 大学教員になりたい人へ

コレを読め!

「知られざる大学教員の実態」

<http://prime.4403.biz/20120327/>

大学の研究者のいろいろ



大学 授業期

役何やってる？ 私立准教授の場合

		月	木	金	土	日
9時	1	研究 MTG		研究 MTG		
	2		授業	会議		
昼	3			会議	院生 MTG	学会や 附属校 入試 など
	4		授業	論文添削		
	5	授業準備	研究室 ゼミ	会議		
	6	研究MTG				
	7		報告採点	論文添削		
18時		授業準備	授業準備	論文添削	査読	
		論文修正	新カリキュラム原案作成			
23時						

授業準備

レポート採点

論文修正

授業準備

院生が論文投稿

投稿論文が条件付採録に

査読

カリキュラム改訂

学会や附属校入試など

自分でプログラムを書いたり、実験したりする時間を入れずにこの状態

大学教員が普段何やってるの？

—年間予定篇—（私大・准教授の場合）

ガイダンス	成績評価	授業			
授業	学内の雑用など				
	休暇				
	ちょこっと研究	学会論文添削			
	学会出張	授業	卒論・修論 添削	センター 試験	
	授業		試験		
			成績評価	卒研 発表会	予算 消化
			次年度 シラバス	修論 発表会	入試
			ようやく研究		
			学会出張		
	試験		次年度準備		

大学教員のココが魅力

自由

- 完全裁量労働
- 上司がない
- 研究テーマが組織の都合で変わらない
- 自分の信念と哲学で教育方針を決められる

最後に(大学教員になりたい人へ)

- いまのうちに、たくさん手を動かそう
 - 教員になると手を動かせる時間が少なくなるので、手を動かさなくても見通しを付けられる力が必要
- 院生のうちに、後輩の研究指導をたくさんやろう
 - 自分が研究指導の最終責任者になる前に、研究指導のノウハウを積もう
- 塾講師のアルバイトをしよう
 - 大学教員になっても、授業の仕方は誰も教えてくれない